

平成28年度明誠舎サマーセミナー

主催：一般社団法人 心学明誠舎

<http://www.ehle.ac.jp/meiseisha/>

最近、心学の教えが様々な分野で注目されてきました。日々起こる出来事に対してどのように考えればいいのか。弊舎として今年度も多角的な視点から『心学』に関連するセミナーを提供し、先人の知恵を学び、現代に活かし、次代に伝える活動を企画していきます。

皆様のご参加をお待ちしております。お申し込みは下記にご記入の上FAXまたはメールでお送りください。

回	開催日時	演 題 ・ 講 師
1	6月10日(金) 18:30~20:00 受付:18時~ 大阪産業創造館 5階研修室E	演題： 近江商人と三方よし 講師： 末永 國紀先生 同志社大学教授・近江商人郷土資料館館長 内容：近江商人の心構えを表現した「売り手よし・買い手よし・世間よし」という「三方よし」は商いの手法そのものに由来する理念である。彼らの商いの特徴は、地縁・血縁に頼れない他国商いだった。他国に出店を開いた商家の遺言書には「石門心学を知らなかったならば家の長久は危うく、行動は仁義を離れて、強欲商人になってしまうであろう」と述べ、心学の書物を毎日読誦するように勧めている。近江商人は石門心学の実践者だったといえる。
2	7月22日(金) 18:30~20:00 受付:18時~ 大阪産業創造館 5階研修室E	演題：～心学明誠舎通史・・世界大戦後～ 講舎活動変遷と21世紀への展望 講師： 中尾敦子先生 弊舎副理事長 内容：怒涛のような明治維新を越え、第2次世界大戦による壊滅的打撃を受けた船場の地で、不死鳥の様に民間私塾明誠舎が甦りました。戦前[都講]役割を担った船場町人不在の逆境を乗り越え、280年の伝統のバトンは誰からどのようにリレーされたのでしょうか。公式記録には残されていない市井の人々に焦点を当て、[心学講舎]の通史を俯瞰しながら心学講舎活動の今日的課題や使命を探ってみます。

記

会 場：大阪産業創造館 <http://www.sansokan.jp/>
大阪市中央区本町1-4-5 5階研修室E

定 員：先着50名（ご参加いただけない場合のみご連絡します。）

受講料：会員は無料 一般500円

申込方法：Fax、E-mail、にてお申込ください。

FAX：06-6632-6100 e-mail: meiseisha@ehle.ac.jp

問 合 先：（一社）心学明誠舎事務局（担当：山田）090-3276-8966

ご出席日を ○で囲んで 下さい。 6月10日(金) 末永國紀先生	7月22日(金) 中尾敦子先生
お名前	ご連絡の出来る TEL
ご住所 〒	
法人会員の方は会社名	
E-mail (登録がお済でない方はご記入ください)	

ご記入いただきました情報は、心学明誠舎からのお知らせに使わせていただきます。

《大阪産業創造館》

大阪市中央区本町1-4-5 大阪市営地下鉄 堺筋線、中央線 12番出口 徒歩5分

